

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●松山弘平騎手がJRA年間100勝を達成

10月12日(日)の4回東京4日・第10レースとして行われたテレビ静岡賞ではワイワイレジェンドが1着となり、同馬に騎乗した松山弘平騎手(栗東・フリー)は、戸崎圭太騎手に次いで本年2人目、自身6年連続6回目となるJRA年間100勝を達成しました。

●藤岡佑介騎手がJRA通算1100勝を達成

10月12日(日)の3回京都4日・第5レースではヴィサージュが1着となり、同馬に騎乗した藤岡佑介騎手(栗東・フリー)は、史上40人目・現役20人目となるJRA通算1100勝(1万2231戦目)を達成しました。

●上村調教師が通算200勝、吉村調教師が通算300勝を達成

10月11日(土)の3回京都3日・第7レースではアラベラが1着となり、同馬を管理する上村洋行調教師(栗東)は、現役106人目となるJRA通算200勝(延べ1425頭目)を達成しました。また10月13日(祝・月)の3回京都5日・第11レースとして行われたMBS賞スワンS(GⅡ)ではオフトレイルが1着となり、同馬を管理する吉村圭司調教師(栗東)は、現役70人目となるJRA通算300勝(延べ3367頭目)を達成しました。

●第15回ジョッキーパーベイズは八嶋駿吏さんが優勝

10月12日(日)の4回東京4日、最終レース終了後に第15回全国ポニー競馬選手権「ジョッキーパーベイズ」の決勝大会が開催されました。全国7か所の地区代表決定戦・選考会で選出された8名が出場。芝コースの直線400mを舞台に腕を競い、ユリに騎乗した北海道地区代表の八嶋駿吏さん(中学1年生)が優勝しました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●南部杯(盛岡)でウィルソンテソーロがJpnI 2勝目

マイルチャンピオンシップ南部杯(JpnI、10月13日、盛岡、1,600m)は、6番手から追い上げた4番人気のウィルソンテソーロ(川田将雅騎手、牡6歳、父キタサンブラック)が残り150mで先頭に立ってシックスペンスを4馬身引き離し、JBCクラシックに次ぐJpnI制覇。逃げた2番人気のペプチドナイルが3着に粘り、1番人気のサンライズジパングは4着、3番人気のシャマルは6着、リメイクは8着、クラウンブライドは9着でした。

●3歳馬ヤマニンチェルキが東京盃(大井)で重賞3連勝

東京盃(JpnII、10月9日、大井、1,200m)は、中国から内目を通して差を詰めた2番人気のヤマニンチェルキ(岩田望来騎手、牡3歳、父フォーウィールドライブ)がゴール前250mで抜け出し、クロジシジョーに2馬身差を付けて完勝。3番人気のサンライズアムールが3着に入り、1番人気に推されたドンアミティエは4着、コンティノアールは6着に敗れています。

●ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンドの結果

2025ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド高知は9月23日に実施され、第1戦は大久保友雅騎手(栗東)、第2戦は松本大輝騎手(栗東)が優勝。トライアルラウンド船橋は9月30日に行われ、第1戦を山本大翔騎手(船橋)、第2戦は横山琉人騎手(美浦)が勝利。同日に組まれたトライアルラウンド佐賀は、第1戦を松本一心騎手(笠松)、第2戦を青海大樹騎手(佐賀)が制しています。

●オケマルが園田オートムTで8戦無敗のまま兵庫三冠を達成

園田オートムトロフィー(10月9日、園田、1,700m)に単勝元返しの支持を得て出走したオケマル(牡、父ニューイヤーズデイ)は、2番手から3コーナー手前で先頭に立って大差勝ちを収め、史上2頭目、現在の体系となつてからは初の兵庫三冠を達成しました。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1フィリーズマイル〜プリサイズがG1連勝

現地10月10日にイギリスのニューマーケット競馬場で行われたG1フィリーズマイル(2歳牝、芝1,600m)はC.スミヨン騎手を背に後方でレースを進めたプリサイズ(牝2歳、父スターズバングルドバナー、愛A.オブライエン厩舎)が鋭い末脚を披露して3馬身1/4差で快勝しました。勝ったプリサイズは今年8月14日にデビュー2戦目(芝1,400m)で初勝利を挙げると、同月24日のG3プレステージフィリーズS(芝1,400m)、さらに前走9月のG1モイグレアスタッドS(芝1,400m)も連勝してここに臨んでいました。

●G1デューハーストS〜ゲワンがG1初制覇

上記したフィリーズマイルの翌日に同じニューマーケット競馬場で行われたG1デューハーストS(2歳牡牝、芝1,400m)はJ.ドイル騎手を背に先行したゲワン(牡2歳、父ナイトオブサンダー、A.ボールディング厩舎)がモルニ賞、ヴィンセントオブライエンナショナルSとG1で2戦続けて2着から臨んだグスタードの追い上げを3/4馬身差しりぞけて優勝しました。勝ったゲワンは今年7月のデビューから2連勝で8月のG3エイコムS(芝1,400m)に優勝。続いて現在のオーナーにトレードされて走った前走のG2英シャンペンSは4着でしたが、G1の舞台で巻き返しました。